

平和マップ

西区南部



西区(明石)の空襲

明石への最初の空襲は、終戦の年にあたる昭和20年(1945年)1月19日にあった。兵庫県下への最初の本格的な空襲は、明石西部に位置した川崎航空機明石工場が標的となっており、被害は甚大で、米軍の記録には、「発動機・組立工場(エンジン・アSEMBリー)を破壊、または損害を与えた」と記されている。

6月に入り、明石は3回にわたって、米軍の空襲を受け、いずれも川崎航空機明石工場が標的とされた。6月17日には、工場にはほとんど損害がなかったが、明石市西部が被災し、明石公園に避難した市民が多数とすこととなった。同22日、26日の空襲で、工場周辺が多大な損害を受けた。

次いで、攻撃目標は明石市街地へと移され、明石市街地に1045.2トンもの500ポンド焼夷弾が命中し、焼夷弾の爆発量は975トンに達した。アメリカ側は「明石市内に多くの焼夷弾が命中し、明石市の24%と川崎航空機工場が破壊された」と記録している。

また、7月28日には、空爆により明石市街地が壊滅した(参照:明石市史編さん委員会編『明石市史』)



写真11 建物9【事務所】、焼夷44。

川崎航空機

神戸平和マップ

〒657-0064 神戸市灘区
(公財)神戸学生青年センター内
TEL.078-851-2760

平和マップ

西区北部



1945年1月3日から本格的に始まった神戸空襲は、8月15日までに何度もあり、死者8000人以上、負傷者18000人以上と言われる。日本人はもちろん、韓国併合で植民地とされた朝鮮人、中国人、連合軍捕虜の人々も犠牲になった。私達は、第二次世界大戦の跡を見つめ歴史に学んでいきたい。

■明石市空襲状況(事務報告) 明石市史下巻(1970年刊)

爆撃月日	被弾地域	死者	負傷者	全壊全焼	半壊半焼 小破
45.1.19	船上、林、小久保、大蔵、大久保、玉津町、伊川谷村	300	187	135	740
45.6.9	明石公園北東、上ノ丸、太寺、伊川谷井手、赤羽、川崎航空機南東	642	593	1226	2158
45.6.22	林、宮ノ下、門田、高西、和坂、鳥羽、下津橋、森友、西河原、吉田、川崎航空機明石工場	25	54	175	1737
45.6.26	公園前通り、玉津吉田、今津、下津橋、森友、西河原	142	207	357	7477
45.7.7	市の中心部8割3分焼失	355	190	9075	36514
45.7.28	明石川水管橋伊川谷浄水場				
計		1464	1231	10968	48626

神戸平和マップを作る会

〒657-0064 神戸市灘区山田町3-1-1
(公財)神戸学生青年センター内
TEL.078-851-2760

2015年6月
発行